

4年	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取り組み）	成果と課題
国語	・既習漢字の定着を図る必要がある。 ・自分の考えを分かりやすく伝えたり書いたりすることに課題がある。語彙を身に付ける必要がある。 ・文章の中心となる語や文を見付けて要約したり、叙述から心情を読み取ったりすることに課題がある。	・朝学習や授業の中でドリルやプリント等の副教材を用いて、書き順や字形を意識した丁寧な文字指導を繰り返し行う。 ・対話的な学びの場面を適宜設定し、トリオやグループで考えを伝え合う経験を積む。構成メモを活用して考えを整理したり、自分の考えをノートに書いたりすることで表現力を養う。語彙を身に付けるために、様々な本や文章を読む時間を設ける。 ・説明文を要約する学習では、繰り返し出てくる語句に線を引き、中心となる語や文を見付け出しやすくする。物語の背景や登場人物の性格を丁寧につかみ、心情を読み取ることができるようにする。	
社会	・調査活動の仕方や、地図帳と各種の具体的資料から、情報を読み取る力を伸ばしていく必要がある。 ・既習内容を基に、自分たちができることなど、社会への関わり方を選択・判断する力を伸ばすための手だてを講じる必要がある。	・調査の活動手順(課題設定→資料収集→情報整理→まとめ)の流れを毎時間確認し、学習の見通しをもって活動できるようにする。地図帳、統計資料、写真、グラフ、年表等、複数の資料を比較し、話し合う活動を取り入れるようにする。 ・学習した内容を日常生活や地域社会と関連付け「自分たちにできることは何か」を考える場面を、授業や単元後半で設定する。	
算数	・わり算の筆算、一億より大きい数の読み方・書き方や仕組み、小数の仕組みの理解に課題がある。 ・自分の考えを式や図に表し、既習の考えを基に説明する力を伸ばしていく必要がある。	・単元学習後も定期的に練習問題に取り組み、確実な知識と技能の習熟を図る。 ・数直線やテープ図、言葉などを使って考えの根拠をノートにかき、自分の考えを話す活動を充実させて表現力を伸ばしていく。	
理科	・既習の学習内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を、発想する力を伸ばしていく必要がある。 ・動物のからだのつくりについて理解を深める必要がある。	・予想や仮説を考える際には、学習内容や日常生活に関連付けた事柄を紹介し、発想しやすくする。また、グループでの話し合いや意見交流をし、互いに考えを深めたり広げたりしていく場面を設ける。 ・生命領域の学習では、学習した用語についてその都度復習を行ったり、動物と人間を比較して考える活動を取り入れたりすることで、知識の定着を図る。	
音楽	・音楽を形づくっている要素を基に、聴き取ったことと感じ取ったことを関わらせて、どのように表現するかについて自分の考えをもち、それを伝えることに課題がある。 ・思いや意図をもって表現するために必要な技能を高めていく必要がある。	・聴き取ったことと感じ取ったことを関わらせて曲全体をつかみ、どのように表現するか等、自分の考えを書いたり、グループで話し合ったりする活動を繰り返し行う。 ・自然で無理のない声で歌ったり、拍やリズム、フレーズを感じて演奏したりする体験を積み重ね、グループで歌や演奏を聴き合いながら表現する力を伸ばしていく。	
図工	・題材、めあてに即した工夫を考えられるようにするための手だてを講じる必要がある。 ・材料に適した道具や描画材を選び、自分の表したいものに合わせて、道具を使い分ける力を育てる必要がある。 ・作品を最後まで粘り強く仕上げ、題材のめあてを深めていく力を伸ばす必要がある。	・題材の導入でめあてに即した描画材や材料を例示し、児童が自分で工夫を考えられるようにする。 ・幅広い材料や道具を扱えるよう、単元の前半に造形遊びなどを取り入れ、慣れ親しむ時間を確保する。 ・授業の進行に合わせて他学年や他学級の作品を例示し、鑑賞する時間を確保することで、最後まで工夫を考えられるようにする。	
体育	・自分で見付けた技能ポイントや、友達の動きを見て学んだことを分かりやすく友達に伝えることに課題がある。 ・ゲーム領域では、規則を工夫したり作戦を選択したりするなどの考える力を伸ばす。また、仲よく運動したり、友達の考えを認めたりする態度を身に付ける必要がある。	・実際に動きを見せ合ったり、タブレット端末を活用して動きのポイントを確認したりすることで、気付きや良さ、課題などを共有して、分かりやすく伝え合う場面を設ける。 ・学級全体で理解して、納得できるゲームの規則を考えたり、試合を振り返って作戦を考えたりすることで、自分たちで意欲をもって取り組めるようにする。	